

日本農芸化学会西日本支部大会およびシンポジウム（第256回）

日 時：2002年9月27日（金）・28日（土）
会 場：崇城大学 熊本市池田 4-22-1

第1日：9月27日（金）

シンポジウム	(10:00 ~ 11:45)	本館6階	学術講演会場
支部評議員会	(12:00 ~ 13:00)	本館4階	会議室
シンポジウム	(13:15 ~ 15:00)	本館6階	学術講演会場
特別講演	(15:20 ~ 17:20)	本館6階	学術講演会場
懇親会	(17:30 ~ 19:30)	本館6階	レセプション室

第2日：9月28日（土）

一般講演 (108題/4会場)	E号館講義1階~4階
午前の部 (9:00 ~ 12:00)	
午後の部 (13:00 ~ 16:30)	
機器展示会 (9:00 ~ 16:00)	E号館1階学生実験室

参加費：一般2,000円、学生1,000円、非会員3,000円（当日）
懇親会費：一般8,000円、学生4,000円、非会員9,000円（当日）

大会実行委員長：郡家 徳郎（崇城大学工学部）

日本農芸化学会西日本支部（九州大学大学院農学研究院内）

会場周辺案内

＜大会会場までの交通機関＞

タクシー利用

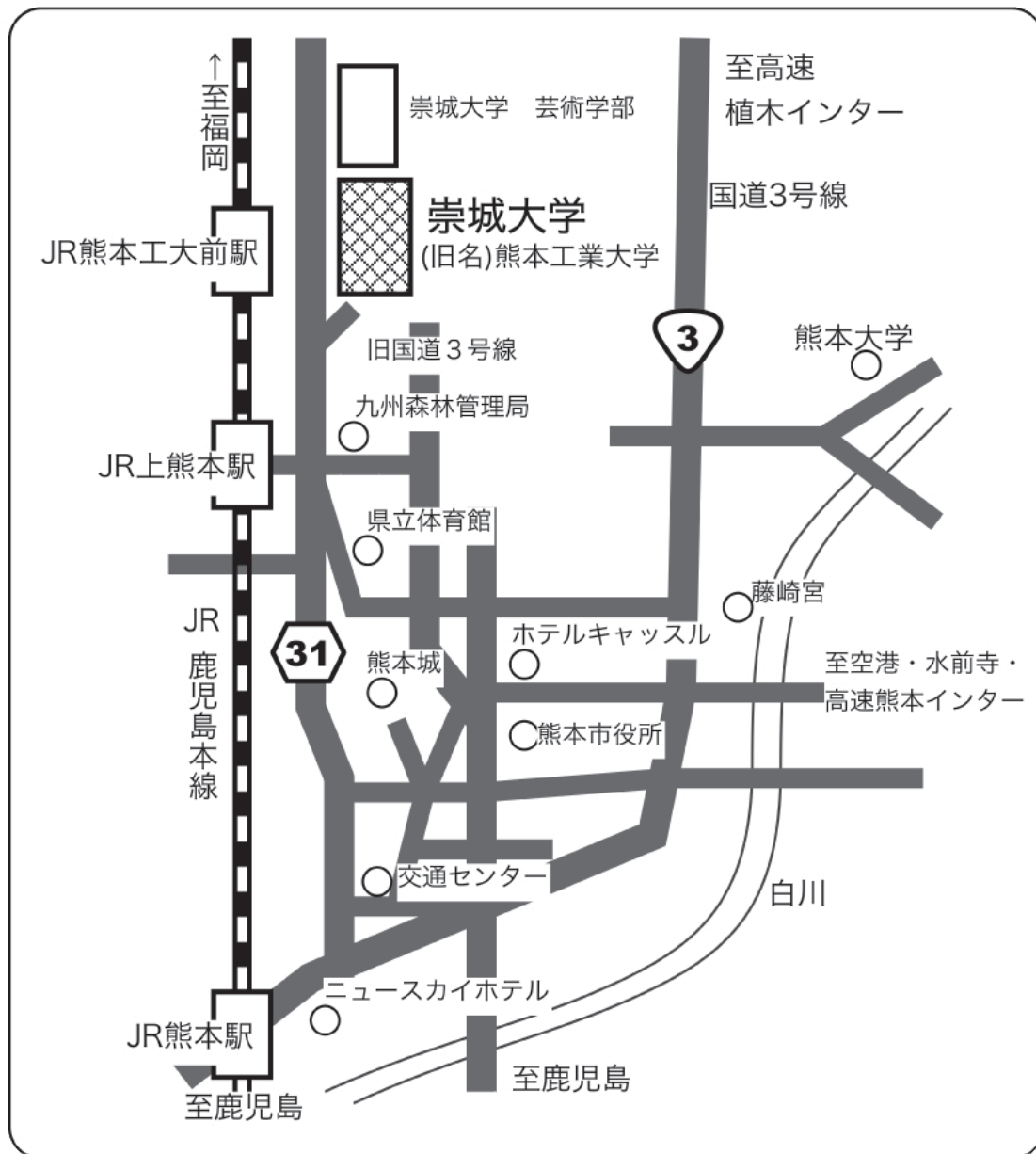
交通センターより所用時間15分、熊本駅より15分、上熊本駅より5分

JR利用

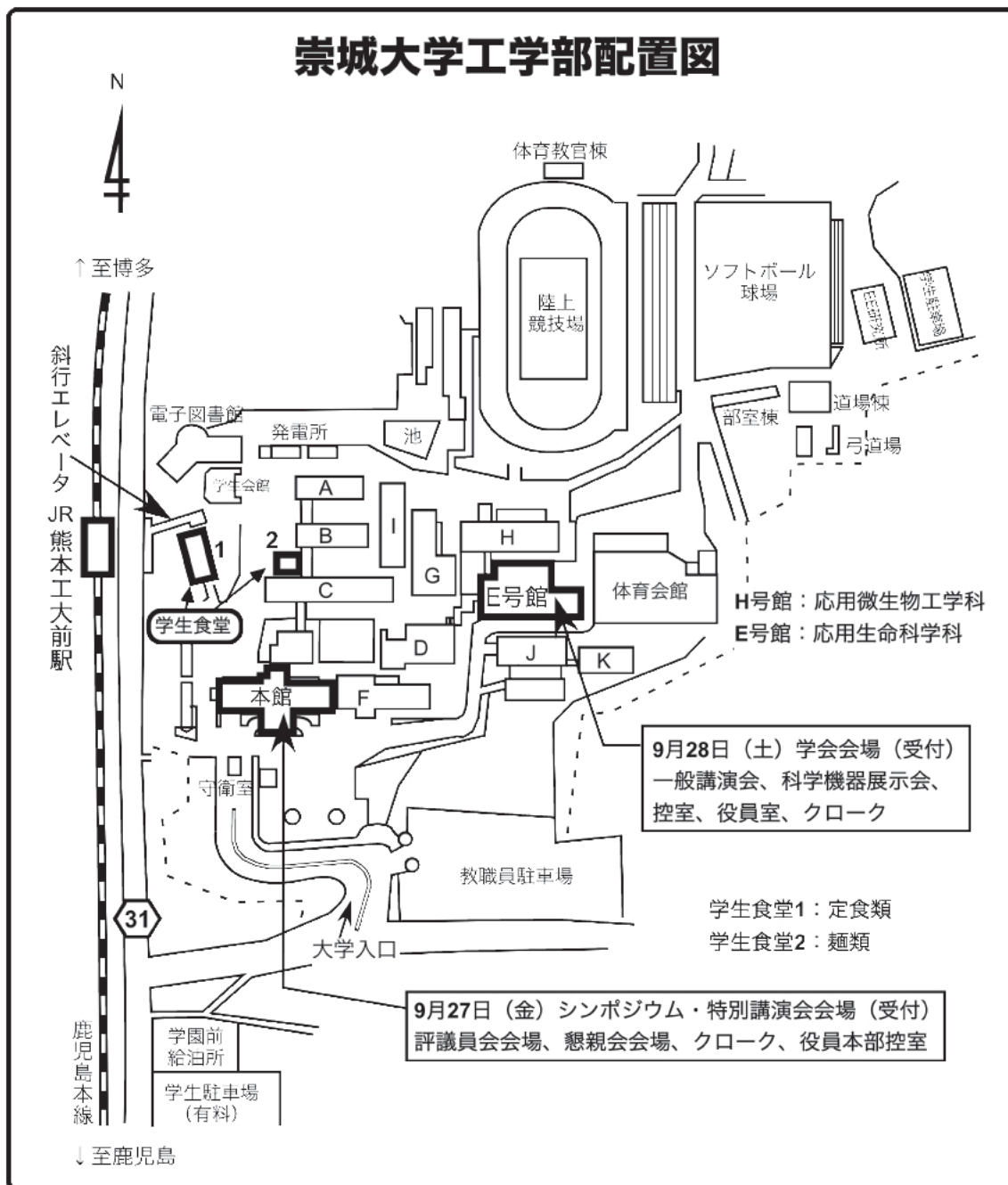
鹿児島本線 熊本工大前駅下車 駅前の斜行エレベーターをご利用下さい。

バス利用

交通センター発（Bホーム23番のりば）産交バス（西里経由「太郎迫行き」、和泉経由「太郎迫行き」、西里経由「野出車庫行き」の何れかに乗車下さい
所要時間20分 約1時間間隔で運行） 崇城大学前下車 徒歩2分

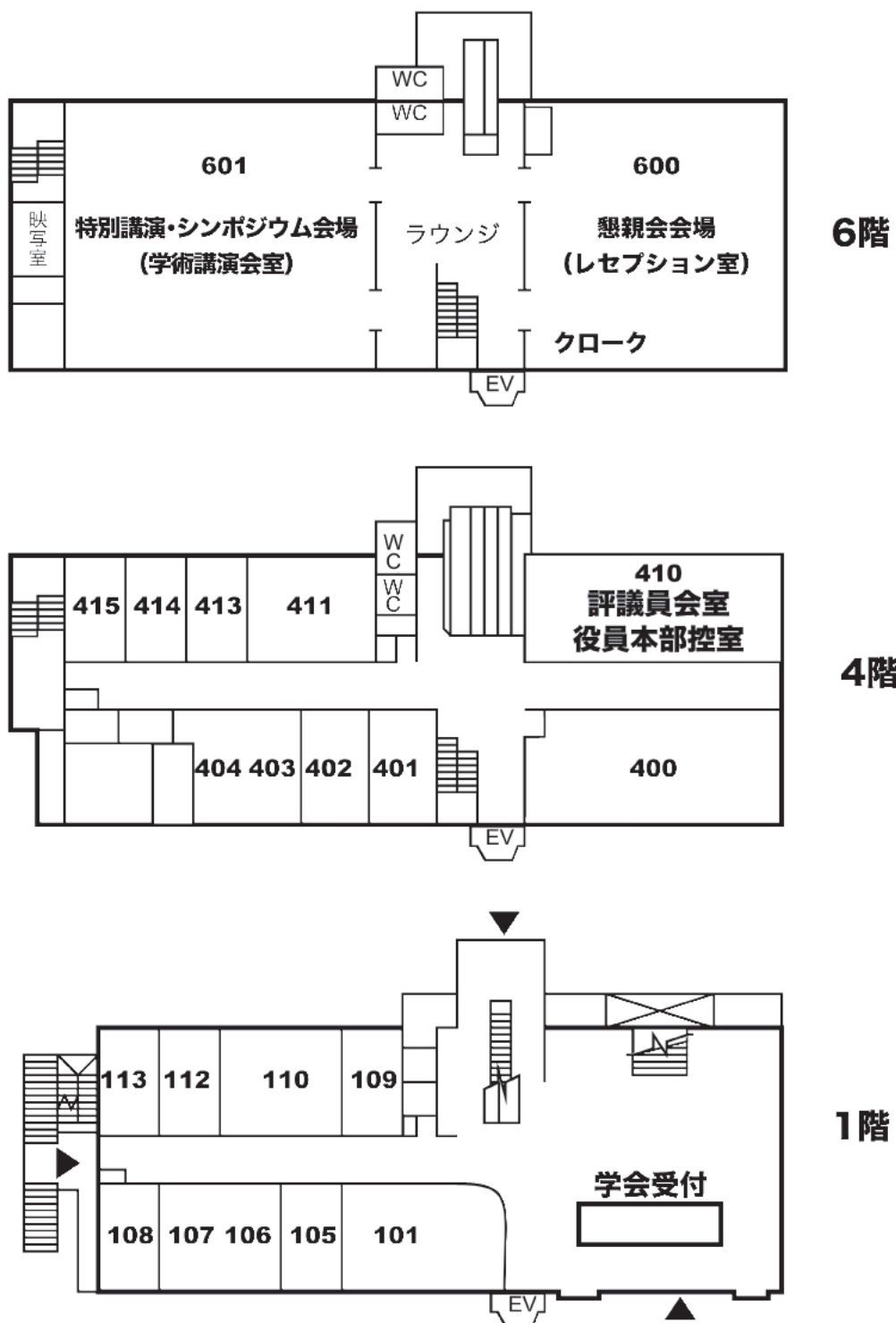


崇城大学工学部配置図

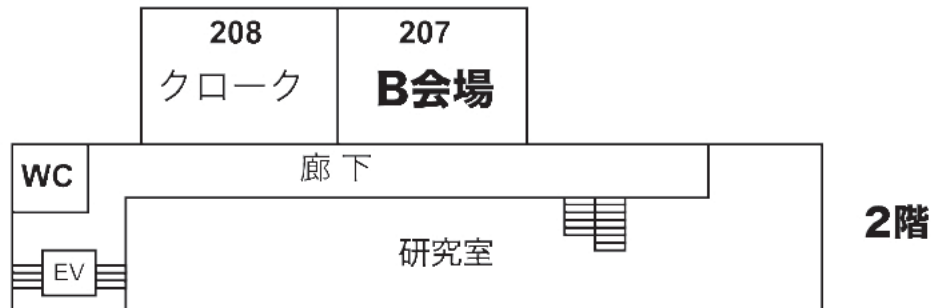
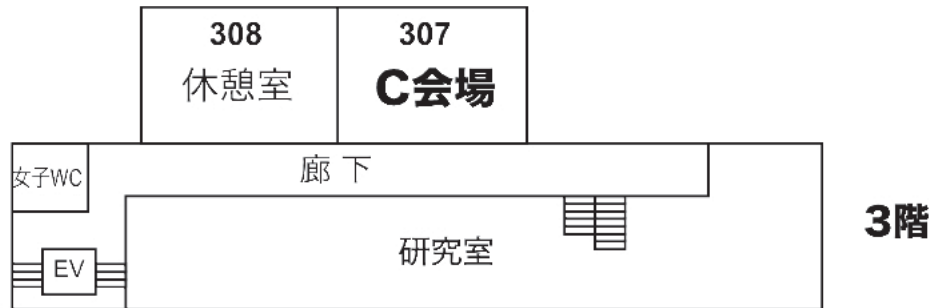
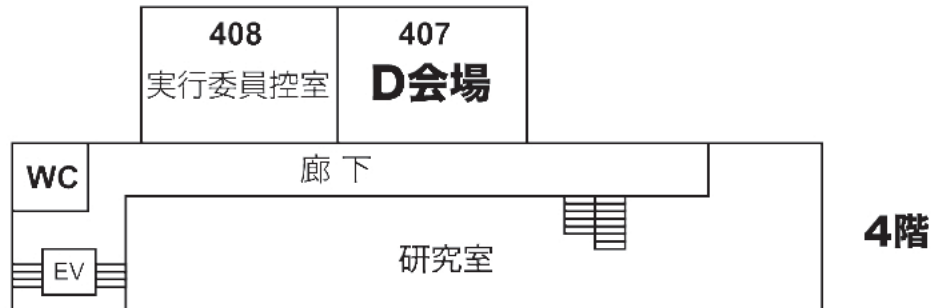


会場案内図

本館



E号館 (応用生命科学科)



参加者へのご案内とお願い

1 参加章

氏名と所属をご記入の上、期間中は必ずご着用下さい。お手数ですが、ネームホルダーは学会終了後受付にご返却下さい。

2 懇親会

9月27日（金）17時30分より崇城大学本館6階レセプション室にて行います。事前申込の方に加えて、当日申込も受け付けておりますので、奮ってご参加下さい。

3 クローク

9月27日（金）：崇城大学本館6階レセプション室のクローク

9月28日（土）：崇城大学E号館2階（208号室・地図参照）

4 昼食

学生食堂1,2（地図参照）が営業しております。

5 喫煙

シンポジウム・特別講演会、および一般講演会場は禁煙ですが、喫煙所を設けております。必ずそちらで喫煙をお願い致します。

6 休憩室

一般講演会場の1階、3階に各1カ所ずつ休憩室を設けます。但し禁煙です。

喫煙は指定の喫煙場所をお願い致します。

7 携帯電話

講演進行の妨げになりますので、会場建物内では必ず電源をOFFにしてください。

廊下など建物内では電話をお使いにならないようお願いいたします。

8 駐車場

シンポジウム、特別講演会、一般講演会場に自家用車でお越しの方は、崇城大学正門入り口の守衛室で「日本農芸化学会西日本支部大会参加」と伝えて下さい。駐車場の指示があります。

座長へのお願い

当日は、各会場入口付近に、『座長、講演者一覧』を表示しますので、ご来場の時に、到着確認のチェックをご記入下さい。

30分前には会場へお越し下さい。

一般講演の講演時間は1題12分（講演10分、討論2分）で、8分で1鈴、10分で2鈴、12分で3鈴が鳴ります。活発な討論とともに、プログラムの進行にもご協力下さい。

特許手続上の確認書および証明書に捺印が必要となる場合がありますので印鑑をご持参下さい。

講演者へのお願い

当日は、各会場入口付近に、『座長、講演者一覧』を表示しますので、ご来場の時に、到着確認のチェックをご記入下さい。

30分前には会場へお越し下さい。

講演は全て OHP で行っていただきます。映写の補助者をご準備いただきますとプログラムがスムーズに進行すると思われますのでご協力をお願い致します。

一般講演の講演時間は1題12分（講演10分、討論2分）で、8分で1鈴、10分で2鈴、12分で3鈴が鳴ります。活発な討論とともに、プログラムの進行にもご協力下さい。

特許手続上の確認書および証明書に関しては、発表者が直接座長に確認をしてもらって下さい。

OHP 発表の注意点

OHP シートの交換は、講演者自身か付き添いのものが行ってください。

OHP シートは10枚を目処に発表して下さい。

A4 サイズ (21.0 × 29.5 cm) のシートを使用し、できるだけ横書き（横長）にして下さい。

OHP をくり返し用いる場合は、その枚数だけシートを用意して下さい。

大会における研究発表の特許手続き上の証明

本会は特許法第30条第1項の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」に指定されておりますので、本会において文書を持って発表し、

(1) その発表した日より6ヶ月以内に(大会講演要旨集発行の日より起算)、その発明者が実用新案または特許について『「特許法第30条第1項の適用」を受けようとする旨を記載した書面』を特許出願と同時に特許庁長官に提出し、

(2) さらに、その発明、考案が『本会開催の大会で発表されたものであることを証明する「本会発行の証明書」を出願の日より30日以内に特許庁長官に提出するとき』は、その発明、考案は新規性を失わないと認められることになっています。この際、大会講演要旨集に記載されている事柄に関しては、刊行物とみなされるので当然保護されます。したがって、大会講演要旨集に記載のない事柄についての発表を保護の対象としたいときのみ、別に文書を本会に提出することとなります。

それには、

(イ) 発表者は、発表のもとになる「文書」(全部または必要部分)を作製して、あらかじめ座長に提出し、発表後、口頭で発表したことの事実を座長に「確認」してもらいます。

(大会講演要旨集のコピーのみを特許庁に提出される場合は座長の確認は必要ありません。)

(ロ) 座長の確認を受けるには、次の例に示すような「確認書」を発表者が作製して、上述の「文書」とともにあらかじめ座長に提出します。

(ハ) 出願者が本会発行の証明書を特許庁長官に提出するときには、座長の捺印した「確認書」1通、「文書」2通(正、副)の他、下記の例に示すような「証明書」(学会の控1通を含む2通)を作製して、返信用封筒(宛名記入、切手貼付)を同封し、本会宛その証明を請求してください。本会では、この証明書に、「文書」のうち1通(正)を添付して返送いたします。

確認書の例

社団法人
日本農芸化学会御中

2002年9月28日
日本農芸化学会 2002年度西日本支部大会
〇〇会場 座長 〇〇〇〇 ㊟

日本農芸化学会 2002年度西日本支部大会において、添付の文書のとおり発表があったことを確認いたします。

記

講演日時：2002年9月28日
講演場所：崇城大学E号館(応用生命科学科)
講演番号：(例：1am13)
発表者および演題：

証明書の例

証 明 書

特許庁長官
太田 信一郎 殿

2002年〇月〇日
社団法人日本農芸化学会
会長 森 謙治 ㊟

本会西日本支部開催による2002年9月28日の日本農芸化学会2002年度西日本支部大会において、〇〇(…発表者名…)〇〇は、添付の文書をもって発表したことを証明いたします。

記

講演日時：2002年9月28日
講演場所：崇城大学E号館(応用生命科学科)
講演番号：(例：1am13)
発表者および演題：

- (注) 1. 発表者が連名の場合は「確認書」、「証明書」、「文書」とも全員の名前を記入すること。
2. 発表後に特許出願の必要が生じ、後日、座長による発表確認が必要な場合は、発表者が直接座長にご連絡下さい。

シンポジウム

【微生物機能の多様性とその新展開】

日 時：2002年9月27日（金）（10：00～11：45, 13：15～15：00）

会 場：崇城大学 本館 6F 学術講演会場 熊本市池田 4-22-1

世話人：大庭理一郎（崇城大・工），小川隆平（崇城大・工）

「種の壁を越える育種法の開発」 赤松 隆（崇城大・工）

「ストレスに応答する好塩性酵母の線状プラスミド」 福田耕才（崇城大・工）

「嫌気性アンモニア酸化（Anammox）の新展開」 古川憲治（熊大・工）

「乳酸菌の多様な新機能を求めて」 園元謙二（九大院・農院）

「微生物酵素による有用オリゴ糖・配糖体の合成」 中野博文（大阪市工研）

「好塩性酵素のクローニング・発現・フォールディング」 徳永正雄（鹿大・農）

特別講演

日 時：2002年9月27日（金）（15：20～17：20）

会 場：崇城大学 本館 6F 学術講演会場 熊本市池田 4-22-1

「分子シャペロンによる細胞機能制御」

森 正敬（熊大・医）

「遺伝子概念の深化：タンパク質を共有結合したゲノム」

廣川秀夫（上智大学名誉教授）

一般講演プログラム (1)

<A 会場 (107 教室) >

午前の部 (9:00~12:00) 遺伝子・微生物

座長：寺本祐司 (崇城大)

- 9:00 1am1 特殊微生物による家畜ふん尿を用いた高品質堆肥の製造法
○田中米實、吉田美裕紀 (福岡生物産業研)
- 9:12 1am2 生ごみを分解するメタン発酵槽内の微生物叢の解析
○湯岳琴、重松亨、イクバル、森村茂、木田建次 (熊大・工・物質生命)
- 9:24 1am3 メタン発酵条件でプロピオン酸を分解する嫌気性微生物叢の解析
○恵良忍、重松亨、湯岳琴、森村茂、木田建次 (熊大・工・物質生命)
- 9:36 1am4 種々の微生物を用いたウランの除去と回収
○鶴田猛彦 (東和大・工・工化)
- 9:48 1am5 *Thermus* sp. TMY 株の増殖に及ぼすシリカとアルミニウムの作用 (その2)
○権藤 友昭、川津 領一、稲垣 史生*、土居 克実、井澤 英二**、緒方 靖哉 (九大院農・遺資工、*海洋科技セ・地殻内微生物、**九大院工・地球工)

座長：関 清彦 (佐賀大)

- 10:00 1am6 Denitrification activity of isolated bacteria from Ariake tideland
○H. R. Kariminiaae Hamedani, K. Kanda and F. Kato (佐賀大・応生科)
- 10:12 1am7 Production improvement of antioxidative substance from *Sporobolomyces salmonicolor* in shaking culture
○Rahman G. M., K. Kanda and F. Kato (佐賀大・応生科)
- 10:24 1am8 非イオン系界面活性剤アルキルフェノールポリエトキシレートの側鎖を分解する微生物の単離と同定
○西尾恵里子、佐々木耕一、市来弥生、森田土郎、吉川博道 (九州共立大学・工・環境化学)
- 10:36 1am9 非イオン系界面活性剤アルキルフェノールポリエトキシレートの芳香環を分解する微生物の単離と同定
○佐々木耕一、市来弥生、西尾恵里子、金嶽麻美、吉川博道 (九共大・工・環化)
- 10:48 1am10 新規フタル酸エステル(DEHP)分解菌の比較
○江頭義宏、杉野浩幸、藤井隆夫 (崇城大・応生命)

座長：土居克実 (九州大)

- 11:00 1am11 放線菌の産生する抗ウイルス薬 (第 25 報) *Streptomyces microflavus* No. 2445 のバシトラシン耐性株によるファッティピラシンの増産
上田 勝、○永田貴裕、横溝和美 (熊大・薬)
- 11:12 1am12 醸造用麹菌を用いた焼酎粕からの γ -アミノ酪酸の生産
土谷紀美*、西村賢了*、立山陽子*、○松田豊和**、本田隆行**、谷口智穂**、野村善幸**、岩原正宜** (*熊工技セ、**崇城大・応微工)
- 11:24 1am13 河川から分離した乳酸菌が生産するバクテリオシン
○深尾匡憲、善藤威史、上田京子*、樋口智子*、中山二郎、園元謙二 (九大院・農、*福岡県工業技術センター)
- 11:36 1am14 トウモロコシから分離した乳酸菌が生産するバクテリオシンの諸性質および構造解析
○古賀祥子、善藤威史、中山二郎、園元謙二 (九大院・農)
- 11:48 1am15 でん粉粕を用いた有用酵素の微生物生産
林 幸男、○古市佳代、森本正浩、宮武宗利、湯井敏文、横井春比古 (宮崎大・工)

一般講演プログラム (2)

<A 会場 (107 教室) >

午後の部 (13:30~16:18) 遺伝子・微生物

座長：榊原陽一 (宮崎大)

- 13:30 1pm1 耐塩性乳酸菌 *Tetragenococcus halohila* の分子シャペロンの機能解析
○曾根崎志野、杉本真也、Amonlaya Jaturapat、福田大介、渡辺麻希、中山二郎、園元謙二 (九大院・農)
- 13:42 1pm2 高度好塩性古細菌由来 nucleoside diphosphate kinase (NDK) の refolding 検討
○坂下賢太郎、石橋松二郎、徳永廣子、米澤 悌、徳永正雄 (鹿大・農・生資化)
- 13:54 1pm3 大腸菌による高度好塩性古細菌由来 nucleoside diphosphate kinase (NDK) の発現
○石橋松二郎、坂下賢太郎、徳永廣子、米澤 悌、菅秋次、徳永正雄 (鹿大・農・生資化)
- 14:06 1pm4 中度好塩菌 *Halomonas* sp. 593 株由来 nucleoside diphosphate kinase (NDK) のクローニングと大腸菌での活性発現
○米澤 悌、徳永廣子、石橋松二郎、徳永正雄 (鹿大・農・生資化)
- 14:18 1pm5 *Paecilomyces* sp. No. 5 の生産するホルムアルデヒドデヒドロゲナーゼの精製と諸性質
○六車 誠、長濱一弘、山浦 泉、田中稔篤、谷口智穂、岩原正宜、野村善幸 (崇城大・応微工)

座長：石橋松二郎 (鹿児島大)

- 14:30 1pm6 糸状菌 *Trichoderma viride* の *Eisenia bicyclis* 由来ラミナランを分解する酵素の精製と諸性質
○野邊理花*、吉田直人*、榊原陽一*、福田亘博*、小川喜八郎**、水光正仁* (*宮大・農・応生科、**南九大・食品工)
- 14:42 1pm7 *Streptomyces herbaricolor* TY-21 株由来トリペプチジルアミノペプチダーゼ (TPP) について
○米井伸一、浴野圭輔、新 隆志 (崇城大・工・応微工)
- 14:54 1pm8 エタノール資化性細菌 *Acinetobacter baumannii* Ba-8 株のアルドン酸生成酵素系について(1)
○森田芳孝、道田勝彦、中谷晃子、浴野圭輔、新 隆志 (崇城大・工・応微工)
- 15:06 1pm9 エタノール資化性細菌 *Acinetobacter baumannii* Ba-8 株のアルドン酸生成酵素系について(2)
○中谷晃子、森田芳孝、浴野 圭輔、新隆志 (崇城大・工・応微工)
- 15:18 1pm10 好アルカリ性放線菌 *Nocardioopsis* sp. TOA-1 生産ケラチナーゼ遺伝子のクローニングと発現
○市川美里*、満生慎二*、岡 拓二*、後藤正利**、古川謙介** (*九大院生資環・生機科、**九大院農院・生機科)

座長：浴野 圭輔 (崇城大)

- 15:30 1pm11 *Aureobasidium pullulans* var. *melanigenum* 由来好酸性キシラナーゼ遺伝子の酵母 *Pichia pastoris* による分泌発現
○奥野智子、田中秀典、森山 聡、太田一良 (宮崎大・農・応生科)
- 15:42 1pm12 ヘベイン様ドメインを有するメロンキチナーゼ遺伝子の単離
○永田さやか、中瀬昌之 (南九大・食工)
- 15:54 1pm13 *Rhodotorula* 由来 P450rm と P450 reductase cDNA の大腸菌での共発現
○大塚美帆、杉野浩幸、藤井隆夫 (崇城大・応生命)
- 16:06 1pm14 酵母 *Yarrowia lipolytica* セントロメア DNA への特異的結合タンパク質の同定
○鶴元昭宏、松岡正佳、小川隆平 (崇城大・工)

一般講演プログラム (3)

<B 会場 (207 教室) >

午前の部 (9:00~10:36) 天然物・有機化学

座長：寺原典彦 (南九州大)

- 9:00 2am1 スジグロカバマダラ幼虫の摂食刺激因子
荻原和仁、○神里和美、相良成孝、新屋敷博人、比嘉松武、与儀誠一 (琉球大・理)
- 9:12 2am2 ベニモンアゲハ幼虫の摂食刺激物質
○新屋敷博人、荻原和仁、比嘉松武、与儀誠一 (琉球大・理)
- 9:24 2am3 リュウキュウアサギマダラ幼虫の摂食刺激因子
○荻原和仁、新屋敷博人、比嘉松武、与儀誠一 (琉球大・理)
- 9:36 2am4 フラボン類の Baeyer-Villiger 酸化を経由するベンゾジオキサン型ネオリグナンの合成
○進 浩之、石橋郁人 (長崎大・水産)

座長：石橋郁人 (長崎大)

- 9:48 2am5 抗幼若ホルモン活性物質の合成と構造活性相関
○石黒英恵、藤田雄大、山田直隆、桑野栄一 (九大院・農)
- 10:00 2am6 アブシジン酸生合成阻害剤の合成検索 (II)
○小林由実、渡邊雄太、山田直隆、桑野栄一 (九大院・農)
- 10:12 2am7 アブシジン酸(ABA)及び抗 ABA 活性物質の合成探索
○古田賢次郎、橋本和樹、山田直隆、桑野栄一 (九大院・農)
- 10:24 2am8 ノシメマダラメイガフェロモン分泌阻害剤のファーマコフォアモデル
○平島明法、茂田陽子*、永楽智彦*、桑野栄一 (九大院・農院、*九大院・生資環)

<B 会場 (207 教室) >

午前の部 (10:36~12:00) 遺伝子・微生物

座長：重松 亨 (熊本大)

- 10:36 2am9 フローサイトメーターによる生菌数測定法
○小林弘司、宮本敬久*、本城賢一*、飯尾雅嘉* (九大院生資環、*九大院農)
- 10:48 2am10 PCRによる *Bacillus cereus* 同定法の開発
○佐々木智恵*、貞苺季代子*、宮本敬久*、本城賢一*、飯尾雅嘉* (九大院生資環、*九大院農)
- 11:00 2am11 RAPD 法による *Bacillus* 属細菌簡易同定法の開発
○貞苺季代子、佐々木智恵、宮本敬久*、本城賢一*、飯尾雅嘉* (九大院生資環、*九大院農)
- 11:12 2am12 *Bacillus thuringiensis* 結晶体毒素に対する感受性のカイコ品種間相違
○白坂信和、宮本和久*、加藤富民雄、神田康三 (佐賀大・応生科、*農業生物資源研)

座長：牟田 滋 (九州大)

- 11:24 2am13 焼酎用酵母の DNA 塩基配列による識別法
○安藤義則、黒澤洋平*、福田 央**、三上重明** (鹿児島県工技七、*黒澤酒造、**酒類総合研究所)
- 11:36 2am14 線虫 cDNA マイクロアレイを用いた新規バイオアッセイ
○園田理紗¹、松野哲也¹、富永伸明¹、浦和寛^{2, 5}、上杉裕子³、小原雄治³、井口泰泉^{4, 5}、有蘭幸司^{2, 5} (1有明高専, 2熊本県大・環境共生, 3遺伝研・遺伝資源情報, 4基生研・統合バイオ, 5CREST)
- 11:48 2am15 放線菌の自然誘発性 pock 形成に及ぼす UV 照射の促進および阻害作用
○山田修司、土居克実、緒方靖哉 (九大院・農・遺資工)

一般講演プログラム (4)

<B 会場 (207 教室) >

午後の部 (13:30~16:30) 遺伝子・微生物

座長：宮本敬久 (九州大)

- 13:30 2pm1 枯草菌コンピテント形質転換：取り込まれた DNA の特徴
○再東幸子*、田口久貴*、赤松 隆*、板谷光泰** (*崇城大・応微工、**三菱生命研)
- 13:42 2pm2 高度好熱菌 *Thermus* sp. TMY 株の自然形質転換と制限修飾系に関する研究
○藤井秀俊、稲垣史生*、土居克実、緒方靖哉 (九大院・生資環、*海洋科学技術センター・深海環境フロンティア)
- 13:54 2pm3 PBS1 フェージによる枯草菌の高頻度形質導入
○八木秀教、田口久貴、赤松 隆 (崇城大・応微工)
- 14:06 2pm4 *Bacillus licheniformis* No.161 の *nar* オペロンの解析と硝酸還元能の応用
○川原優佳、丸山繁美、大桃定洋*、土居克実、緒方靖哉 (九大院遺資工・微遺工、*農林水産省)

座長：福田耕才 (崇城大)

- 14:18 2pm5 *Bacillus* 属細菌 A 1 1 9 0 株由来ヒト癌細胞破壊タンパク質の分離・精製
○立石実穂子、浴野圭輔、水城英一*、赤尾哲之*、新 隆志 (崇城大・工・応微工、*福工技セ・生食研)
- 14:30 2pm6 *Bacillus* 属細菌 A 1 4 7 0 株由来ヒト癌細胞破壊タンパク質の分離・精製
○浴野圭輔、水城英一*、赤尾哲之*、新 隆志 (崇城大・工・応微工、*福工技セ・生食研)
- 14:42 2pm7 *B. cereus pbp3* および *pbp4* の孢子形成初期における転写制御
○清瀬直史、奥園敦子*、宮本敬久**、本城賢一**、飯尾雅嘉** (九大院生資環、*九大農、**九大院農)
- 14:54 2pm8 *B. cereus* IMPDH 遺伝子の孢子形成初期における転写制御
○坂口真理、宮本敬久*、本城賢一*、飯尾雅嘉* (九大院生資環、*九大院農)

座長：本城賢一 (九州大)

- 15:06 2pm9 *Clostridium saccharoperbutylacetonicum* N1-4 の産生する菌体外自己代謝制御因子
吉野貞蔵*、○中屋恵三、中山俊一、永島麻理、高坂智之、古川謙介* (九大院生資環・生機科、*九大院農院・生機科)
- 15:18 2pm10 酵母線状プラスミドの細胞内局在性解析中に見出されたプラスミド
○玉置親平、澤野順子、福田耕才、郡家徳郎 (崇城大・工・応微工)
- 15:30 2pm11 *Debaryomyces* 酵母プラスミドの塩依存安定性
○首藤晃一、福田耕才、郡家徳郎 (崇城大・工・応微工)
- 15:42 2pm12 酵母線状プラスミド核移行系を用いたテロメア新規付加機構の解析
○高田英基*、郡家徳郎**、池田恭治*、松浦彰* (*国立長寿医療研セ・老年病、**崇城大・工)

座長：後藤正利 (九州大)

- 15:54 2pm13 メロンがんしゅ病に対する放線菌プラスミドの関与
○猪狩卓史、吉田政博、河村俊介、鳥潟隆雄 (九州東海大・農)
- 16:06 2pm14 タウリンは酵母に対する凍結および酸化ストレスを軽減する
○西孝太郎、本城賢一*、坂井隆敏、石川洋哉*、松本 清*、宮本敬久*、飯尾雅嘉* (九大院生資環、*九大院農)
- 16:18 2pm15 サルモネラに対する酸化ストレスの影響
○森山祐紀子**、小林弘司**、宮本敬久*、本城賢一*、波多野昌二***、飯尾雅嘉* (*九大院農、**九大院生資環、***西九大)

一般講演プログラム (5)

<C 会場 (307 教室) >

午前の部 (9:00~12:00) 生物化学

座長：平良東紀 (琉球大)

- 9:00 3am1 溶血性レクチン CEL-III の会合体形成過程における C-末端ドメインの役割について
○山崎孝幸、畠山智充、青柳東彦 (長崎大・工・応化)
- 9:12 3am2 プロテオグリカンのヒアルロン酸結合ドメインの大腸菌による発現
○竹本 理、畠山智充、青柳東彦 (長崎大・工・応化)
- 9:24 3am3 海産無脊椎動物グミ由来 C 型レクチン CEL-I の大腸菌による発現とその性質
○畠山智充、藤本時子、青柳東彦 (長崎大・工・応化)
- 9:36 3am4 ソテツの葉レクチン遺伝子のクローニング
○原口友和、八木史郎 (鹿大・農・生命機能)
- 9:48 3am5 遺伝子置換ラン藻を用いたエチレン生成酵素遺伝子の発現と安定性解析
○高濱一貴、長濱一弘、松岡正佳、小川隆平 (崇城大・工)

座長：畠山智充 (長崎大)

- 10:00 3am6 超好熱古細菌 *Pyrococcus horikoshii* OT3 由来翻訳開始因子 aIF-2B サブユニット蛋白質に関する研究
○前谷茂宏、上妻由章、木村 誠 (九大院・生資環・生化)
- 10:12 3am7 超好熱古細菌 *Pyrococcus horikoshii* OT3 由来リボヌクレアーゼ P タンパク質の大腸菌内での発現とその性質
○溝口雅之、高木久徳、福原秀雄、塚本雅代、上妻由章、木村 誠 (九大院・生資環・生化)
- 10:24 3am8 海産無脊椎動物グミ由来溶血性レクチン CEL-III の酵母における発現
○中野雅博、上妻由章、木村 誠 (九大院・生資環・生化)
- 10:36 3am9 RNP ファミリータンパク質の RNA 認識におけるアミノ酸の役割
○岩崎研太、上妻由章、津本浩平*、熊谷泉*、木村 誠 (九大院・生資環・生化、*東北大院・工)
- 10:48 3am10 タバコ葉 (*Nicotiana glutinosa*) における傷害誘導遺伝子の網羅的検索
○阿部真澄、堤優介、上妻由章、木村 誠 (九大院・生資環・生化)

座長：上妻由章 (九州大)

- 11:00 3am11 パイナップル由来キチナーゼの精製と性質
○平良東紀、伊地真理香、當眞則子、石原昌信 (琉大農・生資科)
- 11:12 3am12 糖転移作用を有するキトサナーゼ
○田邊俊朗、森永和子、深溝 慶*、光富 勝 (佐賀大・応生科、*近畿大・食栄)
- 11:24 3am13 日本およびタイ王国の土壌から分離した II 型制限酵素
○七瀬直記、神田康三、加藤富民雄、Y. Boonyakiat*, S. Bovonsombut* (佐賀大・応生科、*チェンマイ大・生物)
- 11:36 3am14 ホロホロチョウ卵白リゾチームの活性と E、F 部位のアミノ酸基
○戸嶋 彦、河村俊介、荒木朋洋、鳥潟隆雄 (九州東海大・農)
- 11:48 3am15 プロテオーム解析のための酵素消化最適化法の確立
○高井良安希子、ティーラジェグル・ヤワラック*、鳥潟隆雄、荒木朋洋 (九州東海大・農、*コンケン大・医科学)

一般講演プログラム (6)

<C 会場 (307 教室) >

午後の部 (13:30~15:30) 生物化学

座長：河村俊介 (九州東海大)

- 13:30 3pm1 高度好熱菌 *Thermus thermophilus* HB8 由来 Rhodanese-like protein の結晶構造解析
○鈴木洋太、角田佳充*、木村誠* (九大院・生資環、*九大院・農院)
- 13:42 3pm2 超好熱古細菌 *Pyrococcus horikoshii* OT3 由来翻訳開始因子 aIF-2 の構造と機能に関する研究
○田原舞乃、上妻由章、木村 誠 (九大院・生資環・生化)
- 13:54 3pm3 タバコ (*Nicotiana glutinosa*) 葉由来タバコモザイクウイルス感染誘導リボヌクレアーゼ NGR3 の X線結晶構造解析
○河野 慎、角田佳充、木村 誠 (九大院・生資環・生化)
- 14:06 3pm4 トポイソメラーゼ阻害薬の構造活性相関
○東島辰弥、鈴木啓太郎、大川原 正、大塚雅巳、上田 勝 (熊大・薬)
- 14:18 3pm5 G タイプリゾチームのペプチドマッピングによる一次構造解析
○猶崎克弘、タマシリラク・ソンボン、中村有里、千々岩有紀、鳥潟隆雄、荒木朋洋 (九州東海大・農)

座長：長濱一弘 (崇城大)

- 14:30 3pm6 アメフラシ科タツナミガイのセルラーゼの部分一次構造
○辻 陽一、松元 俊彦、山浦 泉 (崇城大・応微工)
- 14:42 3pm7 ヒトおよびマウス硫酸転移酵素 SULT2B1 の構造と機能
榊原陽一、○嶋亮一、Ming-Cheh Liu*、水光正仁、(宮崎大・農・応生科、*テキサス大)
- 14:54 3pm8 ニガウリ由来 RNase MC1 の構造安定性に寄与するアミノ酸残基に関する研究
○木村一美、沼田倫征、木村 誠 (九大院・生資環・生化)
- 15:06 3pm9 リポ酸アセチル転移酵素の熱失活反応
○福田登記、葉山寛子、今村 馨、喜多正人、入江寿郎、山上 健、石野良純、麻生陽一 (九大院遺資工・蛋化工)
- 15:18 3pm10 家蚕ジヒドロリポアミド脱水素酵素に関する研究
○入江寿郎、何 寧佳*、藤井 博*、山本幸二*、山上 健、石野良純、麻生陽一 (九大院遺資工・蛋化工、*九大院家蚕遺伝子)

一般講演プログラム (7)

<D会場 (407教室)>

午前の部 (9:00~12:00) 栄養・食品・分析

座長：佐藤匡央 (九州大)

- 9:00 4am1 大豆煮汁からの機能性食品の製造
○梅崎宗規、森村 茂、張 小麗、重松 亨、木田建次 (熊大・工・物質生命)
- 9:12 4am2 緑茶カテキンと紅茶色素テアフラビンを高濃度含有するノンカフェイン緑茶抽出物簡易製造法の開発とその機能性
○安藤 寿*、田栗利紹*、田中 隆*、河野 功*、石丸幹二**、野中源一郎*** (*長崎大院薬、**佐賀大農、***ウサイエン製薬)
- 9:24 4am3 セイヨウキランソウの植物組織培養によるアントシアニンの生成：カルス由来アントシアニン色素の抗酸化能および抗変異原性
○森川晃太郎、山口文子、寺原典彦*、大庭理一郎 (崇城大・工・応微工、*南九大・園芸・食工)
- 9:36 4am4 紫カンショ (*Ipomoea batatas* cv Ayamurasaki)塊根色素の構造と機能性に及ぼす各種米麴の影響
○川島教朋、池内敬浩、三枝敬明、大庭理一郎 (崇城大・応微工)
- 9:48 4am5 赤米のラジカル消去活性とプロアントシアニジン含量
○須田郁夫、沖 智之、増田真美、小林美緒、佐藤哲生 (農研機構・九州沖縄農研)
座長：須田郁夫 (九州沖縄農研)
- 10:00 4am6 セイヨウキランソウ葉カルス培養アントシアニン色素の構造と抗酸化性
○寺原典彦、森川晃太郎*、白石憲俊*、小野裕嗣**、大庭理一郎* (南九大、*崇城大、**食総研)
- 10:12 4am7 抗酸化物質によるクロロフィルの分解抑制効果について
○尾崎加奈、水流美智子*、安田みどり*、尊田民喜 (西九大院・健福、*西九大・健福)
- 10:24 4am8 タマネギ外皮に含まれる新規抗酸化性物質
○瀬部 和美、進藤 直文 (西九州大・健康福祉学部)
- 10:36 4am9 菱由来の抗酸化物質
○熊川景子、安田みどり、尊田民喜*、近藤道男 (西九大・健福、*西九大院・健福)
- 10:48 4am10 日本固有種ラン藻・スイゼンジノリの培養と機能成分の検索
○椛田聖孝、岡本智伸、井越敬司、小林弘昌、小野政輝、増岡智加子、伊東保之 (九州東海大学・農)
座長：安田みどり (西九州大)
- 11:00 4am11 エピガロカテキンガレート添加による魚肉中の脂質過酸化由来有毒アルデヒド、4-ヒドロキシヘキセナール生成の抑制
○境 正、柏村昌弘、谷口祥子、和田加奈子、浅田真理絵、ディプチ M. S. ムナシンハー (宮大・農)
- 11:12 4am12 酸化ステロール類のエストロゲン様作用
○佐藤博慶*、西田早稲子*、友寄博子**、佐藤匡央***、今泉勝己*** (*九大院生資環・生機科、**熊本県立大・生活共生、***九大院農院・生機科)
- 11:24 4am13 還元水による脂質酸化抑制効果
○内山賢二*、濱崎武記*、杉原陽子*、照屋輝一郎*、樺山 繁*、片倉喜範*、大坪一道**、森澤紳勝**、石井嘉時***、白畑實隆* (*九大院生資環・遺資工、**日本トリム、***日田天領水)
- 11:36 4am14 γ -ポリグルタミン酸のリポソームマイクロカプセル化
○石川洋哉、大野健介、松本 清 (九大院・農)
- 11:48 4am15 大麦糠および小麦ふすまの無蒸煮アルコール発酵により生成する色素の比較
○出口智昭、山口奈々子*、三枝敬明*、大庭理一郎* (有明高専・物質工、*崇城大・応微工)

一般講演プログラム (8)

<D 会場 (407 教室) >

午後の部 (13:30~15:18) 栄養・食品・分析

座長：照屋輝一郎 (九州大)

- 13:30 4pm1 近赤外分光分析法による大豆の脂肪酸組成推定
○佐藤哲生、高橋将一、松永亮一 (九州沖縄農研)
- 13:42 4pm2 新しいエンドポイントを用いたバイオアッセイによる化学物質の評価
○小宮華菜*、横尾栄満*、富永伸明*、高良真也**、有菌幸司*** (*有明高専・物質工、**長崎大・環境科学、***熊本県大・環境共生)
- 13:54 4pm3 亜熱帯生物資源の選択的細胞毒性試験によるスクリーニング
○花城薫*、吉田安彦*、豊川哲也**、鎌田靖弘**、岩崎公典***、屋宏典*** (*トロピカルテクノセンター、**沖縄県工技セ、***琉大遺伝子実験センター)
- 14:06 4pm4 夏ミカン果皮抽出物含有複合脂質膜による腫瘍細胞死誘導の画像解析
○谷島正章、岩原正宜、谷口智徳、野村善幸、増原繁夫*、門田裕**、松本陽子**、上岡龍一** (崇城大・応微工、*(株)みなまた環境テクノセンター、**崇城大学大学院・応用化学専攻)
- 14:18 4pm5 細胞周期がキラー細胞及び標的細胞のパーフォリン感受性に与える影響
○清水義之、詫間沙由香、山田耕路*、Chau-Ching Liu**、江藤 望 (宮崎大・農、*九大院・農、**ピッツバーグ大)

座長：江藤 望 (宮崎大)

- 14:30 4pm6 ハブ毒中のホスホリパーゼ A₂ アイソザイムの細胞毒性
○藤本 量、上田直子、千々岩崇仁、鶴 大典、大野素徳 (崇城大・工)
- 14:42 4pm7 細胞老化プログラムにおける PKC- δ の関与
○船田雅昭、片倉喜範、藤木司、中村奈央、今田悠介、白畑實隆 (九大院生資環・遺資工)
- 14:54 4pm8 脂肪細胞に対する発酵乳ケフランケフィアのグルコース取り込み増強効果
○藤島沙織、照屋輝一郎、富永留美、片倉喜範、徳丸千之助*、徳丸浩一郎*、D. Barnes**、白畑實隆 (九大院生資環・遺資工、*日本ケフィア (株)、**ATCC)
- 15:06 4pm9 天然葉緑土ミネラルウォーター (カタライザー21) の腫瘍免疫増強効果
○山野雄一郎、河原岳志、長田和浩、照屋輝一郎、片倉喜範、野口克己*、白畑實隆 (九大院生資環・遺資工、*野口総研)

2002年度 日本農芸化学会西日本支部大会

協賛企業・団体御芳名 (50音順)

- ・アイ・エム・ビー株式会社
- ・アサヒビール株式会社
- ・朝日ライフサイエンス株式会社
- ・味の素株式会社
- ・アーンスト・ハンセン商会株式会社
- ・有限会社笛吹事務所
- ・財団法人化学及血清療法研究所
- ・キリンビール株式会社
- ・熊本県果実農業協同組合連合会
- ・球磨焼酎酒造組合
- ・熊本国際コンベンション協会
- ・熊本酒造組合
- ・熊本製粉株式会社
- ・健康家族株式会社
- ・株式会社ケント科学システム
- ・サッポロビール株式会社
- ・薩摩酒造株式会社
- ・サラヤ株式会社
- ・ザルトリウス株式会社
- ・サントリー株式会社
- ・三和酒類株式会社
- ・株式会社ジーンネット
- ・崇城大学
- ・チッソ株式会社
- ・堤化学株式会社
- ・東京理化工器株式会社
- ・株式会社同仁化学研究所
- ・株式会社トミー精工
- ・鳥越製粉株式会社
- ・株式会社ニチリョー
- ・日本分光株式会社
- ・株式会社ネクスト
- ・バイオテクノロジー研究推進会
- ・福德長酒類株式会社
- ・株式会社ミカド科学産業
- ・南九州コカ・コーラボトリング株式会社
- ・メルシャン株式会社

日本農芸化学会 2002 年度西日本支部大会およびシンポジウム

大会実行委員

実行委員長： 郡家 徳郎
副委員長： 大庭 理一郎
特別講演世話人： 郡家 徳郎
シンポジウム世話人： ○大庭 理一郎、小川 隆平
総務： ○岩原 正宜、赤松 隆、竹田 真敏、
松下 琢、寺本 祐司、田口 久貴、
田中 楢篤
会計： ○山浦 泉、松元 俊彦
会場（一般講演）： ○新 隆志、松岡 正佳、長濱 一弘、
三枝 敬明、浴野 圭輔
（特別・シンポ）： ○小川 隆平、松岡 正佳、長濱 一弘、
寺本 祐司、田中 楢篤
懇親会： ○藤井 隆夫、福田 耕才、杉野 浩幸
情宣： ○野村 善幸、上田 直子
顧問： 鶴 大典、大野 素徳、古崎 新太郎
○印：責任者

日本農芸化学会西日本支部

支部長 緒方 靖哉
幹事（庶務） 片倉 喜範
幹事（会計） 土居 克実
幹事（IT） 照屋 輝一郎
幹事（総務） 麻生 陽一

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学大学院農学研究院
遺伝子資源工学部門細胞制御工学講座内
TEL: 092-642-3050（庶務） FAX: 092-642-3050
E-mail: jsba-w@agr.kyushu-u.ac.jp
URL: <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west/>